

企画提案書評価基準

「日本郵政グループ商標のブランド表現における開発・助言・監修の委託」

日本郵政株式会社
広報部

本評価基準については、「日本郵政グループ商標のブランド表現における開発・助言・監修の委託」の仕様書等に基づいて定めたものであり、評価に当たっては以下により行います。

1 評価項目

評価項目は、下表に定める項目とし、内容は仕様書等で求める要件をすべて満たす必要があります。一つでも、仕様書で求める要件を満たしていない場合は評価を行わず、当該企画提案は不合格とさせていただきます。

2 評価観点

評価観点は下表に定めるとおりとし、これに基づき加点します。

3 得点配分

得点配分は下表に定めるとおりとし、評価項目について有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて審査者1人当たり最高200点を付与します。採点方法は下記の5段階評価の評価点に係数を乗じて算出する。

なお、提案書提出後、必要に応じ、提出者によるプレゼンテーション（説明会）を実施します。

【5段階の評価点（n）】

5：とても良い 4：良い 3：普通 2：やや悪い 1：悪い

4 契約相手方（落札者）の決定方法

各評価者による評価点を合計し、その合計得点が1位の者と契約を締結します。

企画提案書評価基準表

評価項目	評価観点	配点
企画案 コンセプト	明確かつ一貫した企画案コンセプトが示されており、実現可能なものとなっているか。日本郵政グループのブランドイメージを守りつつ刷新したイメージを作るという施策目的に合致しているか。	40 (n×8)
デザインの 具体的提案	デザインの提案が、企画案コンセプトを踏まえ具体的に示されており、実現可能か。日本郵政グループのブランドイメージを守りつつ刷新したイメージを作り上げ、「〒」マークの世界観を表現した、お客さまにとって魅力的なデザインとなっているか。グループ内各社への展開や、将来展開を見据えた、発展的で継続性のある有用な提案となっているか。	100 (n×20)
体制	パートナーシップとして、必要な専門的知識を踏まえたアドバイス、提案、支援ができる体制となっているか。また、迅速に対応できる窓口の設置及び連絡体制が具体的に示されており、プロジェクトの進捗管理を徹底するために必要な体制、緊急時の対応フローが構築されているか。	20 (n×4)
実績	過去に同様案件の制作実績はあるか。 (会社ごとに1件とし、件数及び概要、あれば受賞歴等を具体的に示すこと。)	10 (n×2)
見積り	仕様書等の要件を満たした上で、コスト面での努力、工夫が見られ、企画提案書の内容や体制に相応する見積額となっているか。	20 (n×4)
人権尊重に 関する取組	人権尊重に関する方針やガイドラインを策定し、かつ、有効な取組を行っているか。或いは、ガイドライン等は策定していないが、有効な取組を行っているか。	5 (n×1)
その他	その他、特に有益となる提案を評価する。	5 (n×1)
合計		200